

## 国語復習プリント②

**[1]** 次の各文の【】を、漢字で書きなさい。  
冬に【アツ】いお茶を飲む。

書店で【アツ】い本を購入する。

今年の夏は去年より【アツ】い。

命の安全を【ホショウ】する。

商品の品質を【ホショウ】する。

地震での損害を【ホショウ】する。

関係者【イガイ】立ち入り禁止。

彼は【イガイ】に背が高い。

【2】 次の1～5の熟語の組み立ては、あとのア～オのどれにあたるかを考え、記号で答えなさい。

細心【1】

優劣【2】

國立【3】

出題【4】

永久【5】

同じような意味の漢字を重ねたもの。

下の字が上の字の目的語になつているもの。

上の字が下の字を修飾しているもの。

反対または対応の意味を表す字を重ねたもの。

オ主語と述語の関係にあるもの。

**[3]** 次の各文中の傍線部の動詞の活用の種類は、何行何活用

かを答えなさい。

父が家から出でくると思いました。

目の前に車が止まる。

勉強するときは集中してやろう。

朝だぞ。いいかげんに起きろ。

もう彼は来ないだろう。

**[4]** 次の各文中の傍線部の助動詞「れる・られる」は、どの

よくな意味か。あとのア～エから選びなさい。

都会で遠い故郷のことが思い出される。

教室に校長先生が来られた。

つまみ食いをして、母に怒られた。

これくらいなら覚えられるだろう。

ア受身 イ 尊敬 ウ 自発 エ 可能

あとア～ウから選びなさい。

これが、昨日、おたずねになつた本です。

おいしそうですね。いただきます。

いろいろご心配をかけました。

本日はたいへん、暑うございます。

父もよろしくと申しておりました。

ア尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

**[6]** 次の四字熟語の意味として適當なものを、あとのア～カから選びなさい。

漱石枕流

吳越同舟

臥薪嘗胆

画竜点睛

南船北馬

空前絶後

仲の悪い者どうしが同じ場所にいること

今までに一度もなく、これからも起こらないようなまれな出来事。

将来の成功を期して長い間苦労すること

負け惜しみが強いこと

物事の最後に大事な仕上げをすること

力あちらこちら旅をしてまわること

（逃げる 走る 上がる）

（崩す 流す ひそめる）

（静める 冷やす 起こす）

（構える 過ぎる 触れる）

**[7]** 次の各語の【】にあてはまる言葉を、( )から選んで書きなさい。

虫酸が【】

相好を【】

肝を【】

逆鱗に【】

（逃げる 走る 上がる）

（崩す 流す ひそめる）

（静める 冷やす 起こす）

（構える 過ぎる 触れる）

**[8]** 次の説明に対応する表現として適當なものを、あとのア～エから選びなさい。

余分なもの、不要なもの

狭い知識にとらわれて、広い視野で物事を見られないこと

小さな差はあるが、たいした変わりはないこと

苦労して勉学に励むこと

五十歩百歩

井の中の蛙

ウ 蛍雪の功

エ 蛇足

**[9]** 次の語句の意味として適當なものを、あとのア～オから選びなさい。

常套句

逆説

造詣

ジレンマ

カテゴリー

真理に反するようで実は真理を言い表していること

ある場面でいつも決まって使うことば

分類。部門。種類。範疇。

ある分野に知識が広く、理解が深いこと。

苦しい立場。進退をわざること。板挟み。

〔10〕次のいろは歌の空欄をそれぞれひらがな五字で補いなさい。

いろはにほへと  
「 ① 」  
わかよたれそ  
「 ② 」  
うゐのおくやま  
「 ③ 」  
あさきゆめみし  
「 ④ 」

〔11〕次の文章を読んで、あととの間に答えなさい。

これも今は昔、天暦のころほひ、淨藏が八坂の坊に、強盜その数入り乱れたり。然るに火をともし、太刀を抜き、見て数刻を経。夜やうやう明けんとする時、ここに淨藏、本尊に啓白して、「早く許し遣はすべし」と申しけり。その時に盜人ども、いたづらに逃げ帰りけるとか。

〔注〕※啓白 つっしんで申し上げること。

（『宇治拾遺物語』）

1 二重傍線部A・Bの意味を答えなさい。

2 傍線部①～③の主語を、それぞれあとのア～エから選びなさい。

ア 淨藏法師

イ 強盜

ウ 本尊の仏

エ 作者

3 傍線部④の解釈として最も適当なものを、あとのア～エから選びなさい。

ア むなしくなつて

イ することができなくて

ウ 悪ふざけをして

エ 何も盜らずに

4 本文の内容に合っているものを一つ、あとのア～エから選びなさい。

ア 淨藏法師は仏と通じる不思議な力をもっていた。

イ 本尊の仏は強盜を改心させるために縛りつけていた。

ウ 強盜は本尊の仏の優しさに触れて深く反省した。

エ 淨藏法師は強盜が反省する姿を見て逃がしてやった。

オ 強盜は淨藏法師の慈悲によって逃げ出すことができた。

〔12〕次の文章を読んで、あととの間に答えなさい。

むかし、若き男、Aけしうはあらぬ女を思ひけり。さかしらする親ありて、思ひもぞつくとてこの女をほかへ追ひやらむとす。さこそいへ、まだ追ひやらず。人の子なれば、まだ心Bいきほひなかりければ、とどむるいきほひなし。女も①いやしければ、すまふ力なし。さる間に、②思ひはいやまさりにまさる。にはかに、親、この女を追ひうつ。男、血の涙をながせども、③どどむるよしなし。おいでていぬ。男、泣く泣くよめる。

いでていなばたれか別れのかたからむありしにまさるけふは悲しもとよみて絶え入りにけり。

（『伊勢物語』）

1 二重傍線部A～Cを現代かなづかいにして、すべてをひらがなで書きなさい。

2 傍線部①「いやし」の意味を答えなさい。

3 傍線部②の「思ひ」についての説明として最も適当なものを、あとのア～オから選びなさい。

ア 親の、息子への思い  
イ 息子の、親への思い  
ウ 男と女のお互いの思い  
エ 女の、男への思い  
オ 男の、女への思い  
4 傍線部③について、だれが、だれを「とどむるよしなし」なのか答えなさい。

〔13〕次のように番号順によむことができるよう、返り点を書きなさい。

1 ① ② ⑦ ③ ⑥ ④ ⑤。

2 ④ ③ ② ⑤ ④。

3 ④ ③ ② ①。

4 ② ① ⑥ ③ ④ ⑤。



## 国語復習プリント②

## 解答

3 4 レ	1 1 13	2 1 A 「けしゅうはあらぬ」	2 1 A 「ところが」	① 10 「ちりぬるを」	1 9 「イ」	1 8 「エ」	3 肝を 虫酸が	1 7 「走る」	1 6 「エ」	1 5 「ア」	1 4 「ウ」	4 1 3 「カダ」	1 2 「ウ」	5 1 1 「熱」	
3 2 レ	2 7 三	2 ① A 「イ」	② 「ウ」	② 「つねならむ」	2 「ア」	2 「イ」	3 逆鱗に 相好を	2 「ア」	2 「イ」	2 「イ」	2 「イ」	行 上一段	行 下一段	保証	
3 2 レ	3 6 二	3 B 「オ」	③ 「ア」	③ 「だんだんと	3 「エ」	3 「ア」	4 触れる 崩す	3 「ウ」	3 「ア」	3 「ア」	3 「ア」	5 2 「カラ」	3 「オ」	6 2 「厚償」	
3 1 。	4 5 一。	4 「男」	4 「男」	③ 「けふこえて」	4 「オ」	4 「ウ」	5 「カ」	4 「オ」	4 「ウ」	4 「エ」	4 「エ」	4 「イ」	4 「イ」	7 3 「以外」	
4 2 レ	2 1 1	5 3 レ	5 2 2	5 3 「サ」	5 4 「ア」	5 5 「ア」	6 「イ」	5 6 「イ」	5 7 「イ」	5 8 「ア」	5 9 「ア」	6 「サ」	7 「サ」	8 4 「意外」	
4 1 。	3 6 二	3 5 レ	3 4 四。	3 4 「女」	4 「女」	4 「女」	5 「カ」	4 「イ」	4 「イ」	4 「イ」	4 「イ」	5 「カ」	5 「カ」	6 「カ」	7 「カ」
5 一。	5 4 四。	5 5 レ	5 6 五。	5 6 「を」	6 「を」	6 「を」	7 「カ」	6 「イ」	6 「イ」	6 「イ」	6 「イ」	7 「カ」	7 「カ」	8 「カ」	9 「カ」